

人見知り

生後 6～7か月頃から赤ちゃんは知らない人が近づいたりすると、その人をじっと見つめ警戒したり、泣き出したりするという様子を見せ、人見知りが始まります。でも人見知りは個人差があり、始める時期も程度もさまざまで、中には人見知りをしない子どももいます。

幼い頃の人見知りは、日頃お世話をしている親しい人（家族）から見知らぬ人へと人間関係を広げるための認識の力なのです。一番身近なお父さんやお母さん、家族がしっかりと関わることで、安心し、甘えられる人がいるからこそ現れる姿です。

近所の人や散歩の人に声をかけられ、ベソをかいても無理をさせずに繰り返し人と触れ合う経験をさせていくことで他人を認め、安心感が広がっていきます。

この時期に人を信じ、人を愛する心『人っていいなあ』という気持ちが育まれると言っても言い過ぎではないので、大切に関わっていきましょう。



子育て応援カード3
鶴岡市子育て支援推進委員会